



令和6年3月

第230号

かけはし

ケアハウスあじさい園



URL: <http://www.ajisaien.or.jp/>

アナタ ポリビア

奈良県出身の秋元広行氏率いるANATA(アイマラ語で祭りという意味)という名前のポリビアを代表するフォルクローレグループのコンサートにご招待いただきました。秋元氏は23才の時、フォルクローレ音楽にみせられ、単身ポリビアに渡られました。その時ご両親には「一年間ポリビアに行ってください」と言って日本を離れ、6年後にやっと一時帰国、お父様からはポリビアの一年はずいぶん長いのだなあと驚かれたそうです。23年間ラパス在住の間、大統領のための演奏会、世界で活躍し日本を発信する日本人63名に選出されるなど、世界最高峰の平和の都ラパスで結成されたアナタポリビアは、今ではポリビア文化推進の功績を讃えられるグループです。

ポリビアは南米、ブラジルのお隣、国土は日本の3倍、そのうち3分の1が高いところ、3分の2がアマゾン川流域の熱帯。アンデス山脈標高3800mの首都ラパスがどれ程空気が薄いかということ、口を閉じさらに左の鼻の穴を閉じ右の鼻の穴だけで呼吸している感じだそうです。

バンドメンバーは、6名10弦のチャランゴ、サンポーニャは大小とあり、それぞれポニョ、チュリ、マルタと呼び、たて笛のケーナは黒炭でできていて、たいこのボンボはよぎの皮です。ベースやドラムもあり、秋元氏はギターとボーカルです。

高山ラパスの人々は肺活量がおどろきで、少しの酸素ですとても長く笛を吹くことができます。20曲の演奏のうち半分以上は秋元氏の作詞作曲でポリビアの大自然や愛や花を表現、又、ケーナやサンポーニャのための曲もありました。もちろんフォルクローレで有名なコンドルが飛んでいくや、花祭りも演奏され、ポリビアの民族楽器の、やちよこたくまじをかねそなえたフォルクローレの澄んだ音色が心に染み入り感動いたしました。

ポリビアの医療はせい弱であるため、コロナ感染症により多くの国民が亡くなられたとのこと。亡くなられた方も残された方も皆、幸せな時間、一緒に過ごした時間を忘れないでほしいという願いで「忘れないで」という曲も復興のひびきとして演奏されました。フォルクローレにある地球の真裏のアンデスの人々の愛や伝統、魂、そしてアナタ(祭り)の心を音楽を通して知ることができました。このような機会をいただきありがとうございました。

3月行事予定

- 10(日) いどばた会
- 12(火) 訪問理美容
- 28(木) 食事会



2月3日(土) 豆まき

「鬼は外!」「福は内!」と、元気良く豆をまき、皆さんの邪気と、コロナウイルスを払いました!

お誕生日おめでとうございます

A様 (63歳)



《お詫びとお知らせ》

コロナ感染者発生に伴い、入居者の皆様には大変ご不自由をおかけし、申し訳ございませんでした。

3月10日に終息することができました。ご面会いただけますので、ご連絡ください。

